

# 東京都公立大学法人 令和4(2022)年度 年度計画概要

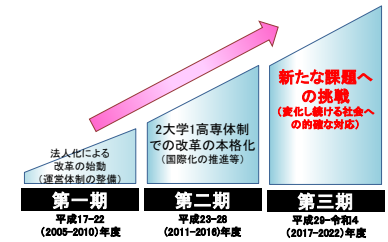
## 第三期中期計画

～一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジの展開～

【重点方針】(計画期間:平成29(2017)年度から6年間)

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化

※中期計画の変更(令和元(2019)年度) 新たな飛躍に向けて更なる教育研究の充実、名称変更を実施



## 《年度計画策定方針》第三期中期計画の最終年度として、第四期中期計画において更なる飛躍を図るための取組も実施

- ・教育力・研究力の更なる強化に向けた教育研究基盤の整備や様々な支援の充実
- ・都の関係機関や国内外の教育研究機関等と連携し、都立の大学・高専ならではの取組を推進
- ・気候変動やDX、コロナ禍等の社会変容により顕在化した新たな課題や危機管理体制の整備等にも対応

## 令和4(2022)年度の基本方針

～社会の変容を機敏にとらえ、各校ひいては大都市の持続的な発展の実現に向けた取組を加速～

### 教育・研究の充実

豊かな人間性と創造性を兼ね備えた世界で活躍できる人材育成のため、デジタル技術等を積極的に活用し、教育研究基盤を一層強化

### 社会貢献の推進

生涯現役都市の実現や社会人向けリカレント教育、持続可能をテーマにした調査・分析など、都との連携強化及び教育研究効果の社会への積極的な還元

### グローバル化への対応の加速

学生の留学支援や留学生受入れにおいて対応を充実させるとともに、オンラインも活用し世界の大学等との国際連携を図るなど、質・量の両面からの国際化を加速

### 組織運営基盤の強化

プレゼンス向上に向けたブランディング戦略の推進や情報セキュリティ対策の徹底、コロナ禍後の新しい働き方を見据えた業務効率化、SDGs実現への取組の推進

## 東京都「未来の東京」戦略などへの対応

《東京都「未来の東京」戦略 version up 2022 及び 3か年のアクションプラン(2022年2月)より》

- 持続可能な社会実現に向けた調査研究
  - 「TMUサステナブル研究推進機構」において、ESG投資、水素エネルギーの活用などの調査研究を推進
- Society 5.0時代に羽ばたく人材を育成
  - 都立大：数理・データサイエンス副専攻、大学院における専門人材育成、産技高専：新コース授業開始、「デジタルものづくり」技術者育成
- スキルアップ・キャリアチェンジ等の可能性をひろげる社会人教育を充実
  - 都立大：AIやデータサイエンスが学べる講座、産技大：シニアスタートアップ、産技高専：医工連携ビジネスプログラム
- 大学発ベンチャーの発掘・育成、多様なスタートアップを育成
  - 研究者や学生が起業するために必要な一貫した支援を検討・実施、日野新棟にインキュベーション機能等を設置

- 「2021年度授業実施方針」に基づき、感染症拡大防止策を講じて対面授業を実施するとともに、オンライン形式による授業については、教員及び学生に対して必要な機器の貸出を実施
- 超高齢社会の課題解決にチャレンジする人材育成を目指し、大学院分野横断プログラム「超高齢社会学際プログラム」を新規開講
- 文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」により、博士後期課程学生に研究専念支援金及び研究奨励費の支給、研究力向上及びキャリアパス形成を支援するセミナー、ワークショップ、外部メンターによる面談を実施



【超高齢社会学際プログラム】

- 英文プレスリリースや研究広報誌等により国内外に積極的な研究成果を発信
- 南大沢及び日野キャンパスに整備した日本最大級規模のローカル5G環境を活用し、新たな最先端研究を開始
- 科学技術振興機構「創発的研究支援事業」、日本学術振興会「科学研究費助成事業（特別推進研究）」及び文部科学省「先端研究基盤共用促進事業（実施機関として参画）」に採択
- Nature姉妹誌「Scientific Reports」の2020年TOP100（物理学部門）に選出（物理学論文800件以上の中で25位にランクイン）
- 東京都が推進する「5G技術活用型開発等促進事業」における5Gイノベーションの街中実装及び事業化を推進するプログラム「GO BEYOND DIMENSIONS TOKYO」に「街中実装パートナー」として参画

◆教育改革の推進、学修支援環境の整備

- ・学生が所属に関わらず多様な科目を文理の枠を超えて履修する仕組みについて、令和5(2023)年度からの全学共通教育プログラムへの導入に向けて検討
- ★ デジタル技術を活用したシミュレーション教育におけるコンテンツの開発
- ・データサイエンス・AIの技術の本質を理解し、これらの技術を利用したサービスやシステムを課題解決のために活用できる人材を育成するため、数理・データサイエンス副専攻コースを開講
- ・文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」及び国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の実施により、経済的支援、博士後期課程の研究力強化、キャリアパス支援を拡充
- ★ 学内ネットワークの強化等教育研究の基盤となるインフラ整備を進めるとともに、大学教育のデジタルイノベーションを推進

◆学生の課外活動における安全対策

- ・課外活動での重大事故を受け、活動における危険性について、各団体が自主的に共有し継承する仕組みづくりを支援するとともに、研修等により、リスク管理について学ぶ機会を提供

◆入試改革の推進

- ・大学入学者選抜改革に対応するため、「学力の3要素」の多面的評価を目的とした学部入試制度及び選抜方法の分析・設計、多様な選抜の充足率向上に向けた検討等を実施

【第三期KPI】

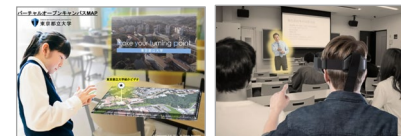
★AO入試等の多様な選抜  
募集人員全体の30%

◆研究基盤の整備、先進的課題の研究

- ・外部資金獲得促進や研究力向上に向けて、学内研究費の効果的な配分のあり方や、全学的な研究情報基盤の整備等について検討
- ・ローカル5G環境を活用し、高度通信社会における課題解決型研究や、Society5.0の実現に向けた社会実装が期待される研究を推進
- ・研究センター等に対する積極的な支援を行い、平成26(2014)～28(2016)年度平均獲得額対比で外部資金獲得額150%を目指す

◆研究力強化、将来を担う研究者の支援・育成

- ・若手研究者を中心に、戦略的に研究費を配分することで、都立大の将来を担う研究者の支援・育成を積極的に推進
- ・研究力の更なる向上に向け、令和4(2022)年度からトップ研究者を招へいするために必要な研究環境等を整備



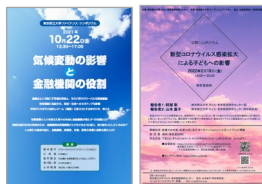
◆先端研究環境の整備

- ・日野キャンパス新棟の機器共用センターの運用方法等を整備（バーチャルキャンパスマップ）（リアルタイムVR配信）【ローカル5G環境活用実証フィールド提供事業（R3）】
- ★ リモートで研究を実施できる環境の整備
- ・南大沢及び日野キャンパスに整備したローカル5G環境の継続的な運用・改善を行うとともに、民間企業等へのフィールド提供等を通じて、更なる有効活用を図る

【第三期KPI】

★研究センター外部資金獲得額  
150%以上(平成26～28年度平均獲得額対比)

- 公益財団法人東京都環境公社との次年度以降の共同研究に向けた調整、公益財団法人東京都医学総合研究所との感染症対策に資する共同研究に向け教員・研究者との意見交換を実施
- 子ども・若者貧困研究センターにおいて、公開シンポジウム「新型コロナウイルス感染拡大による子どもへの影響」を開催
- 金融工学研究センターにおいて、ファイナンス・シンポジウム「気候変動の影響と金融機関の役割」を開催
- 「Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)」が、JST「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) スタートアップ・エコシステム形成支援」に採択（共同機関として参画）



【シンポジウム】

◆東京都をはじめとした関係機関との連携推進

- ・東京都の大都市課題解決に資するため、社会情勢を的確に反映した施策の提言・提案や行政ニーズと研究シーズのマッチング機能を強化し、新たな学際的プロジェクトの組成を実施
- ・持続可能な未来社会を切り拓くことが期待される独創的・先駆的な優れた研究を推進
- ・東京都医学総合研究所等、都の関連研究機関との相互交流を組織的に実施し、将来の感染症対策に資する研究をはじめとした共同研究プロジェクト等を推進
- ・障がい者スポーツの更なる理解促進と裾野拡大に貢献
- ・グローバルに活躍できる高度金融専門人材を養成するとともに、金融工学の最先端研究を実施

◆産学公の連携推進

- ・大学発ベンチャーの更なる創出に向けて起業講座を拡充するとともに、他大学との連携による新たな支援策の検討を開始
- ・多摩地域における産学公連携拠点として、日野キャンパス新棟の産学公連携スペースの活用方法について具体的な計画を策定

◆生涯学習推進のための環境整備

- ・東京都立大学オープンユニバーシティにおいて、オンライン講座や対面式講座それぞれのニーズに対応することで、様々な受講者の受講機会拡大を図る
- ・本科、専攻科及び研究生コースを合わせ最長4年間学び続けられる東京都立大学プレミアム・カレッジについて、カリキュラム等の充実を図りながら円滑に運営



【起業講座】

【第三期KPI】

★学際的大型プロジェクト 10件以上創設  
★大学発ベンチャー 累計10社設置

- オンラインによる短期海外派遣プログラムを実施し、コロナ禍においても学生に対して留学の機会を提供
- 教員・職員・学生で構成された留学促進チームを発足し、留学経験者と留学希望者間で相談が行える留学コンシェルジュを創設・実施
- 世界を舞台に各界の一線級で活躍するゲストスピーカーによるオンライン講座やトークセッションを実施



【世界を舞台に活躍するゲストスピーカーによる講座】

◆学生の海外派遣の促進・留学生受入れの拡充

- ・オンラインの活用もしながら、留学促進に向けた取組を全学的に実施
- ・世界を舞台に各界の一線級で活躍するゲストスピーカーによる講義を実施
- ・社会情勢を踏まえつつ、外国人留学生向けの国内外でのプロモーション活動を充実
- ・東京グローバルパートナー奨学金プログラムを新設し、幅広い国・地域から大学院へ優秀な外国人留学生を受入

◆教育の国際化の推進、海外大学等との連携強化

- ・博士前期課程における英語開講科目の増加や外国大学とのオンライン教育による教育連携等により、日本語力が十分でない留学生でも学位を取得しやすい環境の整備を推進
- ・英語課程の編成を前提に学部学科単位での秋入学導入について検討
- ・海外大学の学生等との議論や交流を通じ、学生の国際感覚などを養うため、コロナ禍でのオンラインの活用等も念頭に、グローバル・コミュニケーション・キャンプ(GCC)及びグローバル・ディスカッション・キャンプ(GDC)を開催

【第三期KPI】

★学生の海外派遣総数 1,350人程度  
★外国人留学生数 900人程度

- 産業技術専攻において、産業界でイノベーションを担う人材を育成し、研究科再編後、初の修了生を輩出
- 令和2（2020）年度新設の内部質保証室を中心とした内部質保証体制を構築
- AIIT高度専門職人材教育研究センターにおいて、オンラインシンポジウムを開催するとともに、教学IR体制を構築
- 新たに2研究所を設立し、合計9研究所による開発型研究を推進し、研究成果を社会へ還元
- 文部科学省補助事業「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」における取組について、FDフォーラム2021「挑戦！本気のDX～技能教育高度化のための共創的スキル学習プラットフォームの構築～」を開催



【FDフォーラム2021】

- 事業案「東京都地域防災計画のIoD化による防災力向上」が、東京都「大学研究者による事業提案制度(大学提案)」の事業化対象に選定
- AIITシニアスタートアッププログラムを実施
- 少子高齢化時代の健康寿命分野の価値創造と問題解決のため履修証明プログラム「健康寿命デザイン講座」を新規開講



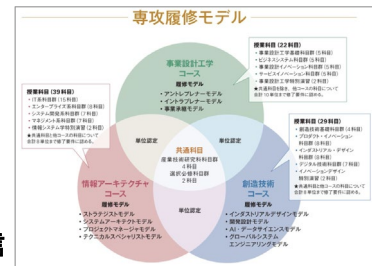
【健康寿命デザイン講座】

- グローバルPBLの取組として、アジア・アフリカの現地大学・政府関係機関等とデジタル技術を活用したSDGsプロジェクトを実施
- APEN（アジア高度専門職人材育成ネットワーク）の第11回理事会をオンライン開催

◆ 産業界のニーズを反映した教育体制の整備、教育内容の改善

- ★ 研究科再編に伴い導入した学位プログラム(事業設計工学コース、情報アーキテクチャコース、創造技術コース)を着実に実施し、DX等を活用しながら、産業界でイノベーションを担う人材を育成

- ・自己点検・評価活動において新たに構築したPDCAサイクルを実施するとともに、学生授業評価アンケート結果について、平均4以上の評価を維持
- ・ブレンディッド・ラーニングの推進や遠隔授業の継続的な実施により、多様な学生に対して効率的な学修環境を提供



【産業技術専攻の履修モデル(3コース体制)】

◆ 高度専門職業人としての資質を有する学生の確保

- ・ロールモデル集、AIIT PBL Method、大学院案内等を活用した企業等へのアプローチ、ホームページやSNS等での積極的な情報発信
- ・オンラインも活用した大学院説明会を年間10回開催し、参加者250名を確保

◆ 高度専門職教育に関する教育手法等の研究及び成果の発信

- ・AIIT高度専門職人材教育研究センターにおいて、高度専門職人材育成に関する教育研究成果を発信するとともに、教学IR体制のもとで教学研究の成果に関するデータの蓄積、整理及び分析を実施

【第三期KPI】

★学生授業評価アンケート結果 平均4以上  
★大学院説明会参加者数 年間250名超

◆ 社会との連携及び産業振興

- ・都・区市町村、島しょ自治体等に対し、職員向けの研修や公開講座を企画・実施し、人材育成に貢献
- ・東京商工会議所を介した中小企業からの相談事業への対応、中小企業向けの技術支援等に必要の基盤整備を通じ継続的な支援を実施

◆ 社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実

- ・公開講座AIITフォーラム、履修証明プログラム及び単位バンク制度を実施し広く社会人を対象としたキャリアアップや学び直しの場を提供
- ・シニア世代を中心に、起業に必要な知識及びスキルを短期間で修得できるAIITシニアスタートアッププログラムを継続開講



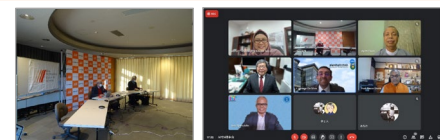
【AIITシニアスタートアッププログラム】

【第三期KPI】

★都・区市町村の職員向け研修等 年間10講座  
★AIITフォーラム参加者数 年間600人程度

◆ グローバル人材の育成及びアジア諸国等の大学等との連携

- ・グローバルに活躍できる高度専門職人材を育成するため、グローバルPBL等の教育プログラムや学生がグローバル人材として獲得すべき能力指標を活用した教育を実施
- ・アジア諸国等の大学ネットワークを活用し、PBL型教育について国内外に広く発信するとともに、オンラインも活用しながら各大学との交流を促進



【第11回APEN 理事会の様子】

【第三期KPI】

★グローバル人材能力指標達成割合 全学生の8割

- 品川の本科教育の再編、荒川の医工連携教育・研究プロジェクトの実施
- 2つの職業教育プログラムを開設し、令和元（2019）年度までに両プログラムで初の修了生を輩出
- 社会人対象の情報セキュリティに関するリカレント教育の実施
- エンジニアリングデザイン教育やアクティブ・ラーニングの促進
- 特別推薦入試の実施、ホームページやSNSを活用した積極的な広報による女子学生の確保
- 2大学1高専連携事業「第三期共同研究～専攻科Co-Labo.」の開始



【情報セキュリティ技術者育成プログラム(企業訪問の様子)】



【航空技術者育成プログラム(実習風景)】

◆新しいものづくりを牽引する実践的技術者の育成

- ・(品川) 本科再編後の教育開始及び新コース希望者の確保  
(荒川) 医工連携教育・研究プロジェクトの教育プログラムを実施、リカレント教育のオープンカレッジや関連機関との共催講座を開設、都立大健康福祉学部との共同研究を実施
- ・産業界や社会の人材ニーズを踏まえた情報セキュリティ技術者及び航空技術者育成プログラムの着実な実施及び修了生を輩出
- ・社会人を対象とした情報セキュリティに関する勉強会の実施によるリカレント教育の拡充や社会人研究生の受入れ

◆教育体制、学生支援、女子学生や意欲的な学生の確保

- ★デジタル技術の活用による機械系ものづくり実習環境の構築、活用
- ・オンラインや少人数でのグループワーク等を活用したアクティブ・ラーニングの推進やデザイン思考の授業を実施
- ・キャリアポートフォリオを活用したキャリア支援を本格実施
- ・品川区・荒川区との特別推薦入試を実施
- ・女子学生や意欲ある学生確保に向けたホームページやSNS等を活用した広報



【デジタル技術の活用による機械系ものづくり実習】

◆ものづくりスペシャリストの育成に資する研究活動の活性化

- ・特別研究期間制度の着実な実施による専門分野教育研究の向上

【第三期KPI】

★職業教育プログラム修了生  
情報50名以上・航空20名以上輩出

- オリンピック・パラリンピックを見据えた「快適環境マップ」の作成・開発
- 情報セキュリティ対策を学ぶ「サイバーセキュリティTOKYO for Junior」やICTインフラを学ぶ「ICT基礎Lab. for Junior」等の中学生向け勉強会の開催
- 品川区中小企業向けの実体験型サイバーセキュリティセミナーを開催

◆ものづくり人材の育成や技術者の学び直し等の支援

- ・若年層からの情報セキュリティ技術者教育に貢献すべく、中学生向け情報セキュリティ研修を実施
- ・都職員等向けの情報セキュリティ研修の実施を検討
- ・オープンカレッジ等の技術者支援講座の開講、品川区の中小企業対象のサイバーセキュリティ対策研修を実施



【サイバーセキュリティTOKYO for Junior】



【ICT基礎Lab. for Junior】

【第三期KPI】

★オープンカレッジ技術者育成講座 倍増

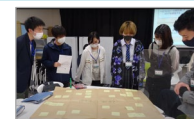
- オンラインを活用した海外体験プログラムの実施
- JABEEプログラムに対応した教育カリキュラムの実施
- マレーシア工科大学との国際セミナーの実施



【マレーシア工科大学との国際セミナー】

◆国際的に活躍できる技術者の育成

- ・専攻科の一部専門科目の英語教育導入に向けた試行授業の実施
- ・海外体験プログラム(GCP・IEP)で70名の参加者を確保して実施



【海外体験プログラム(GCP)】



【第三期KPI】

★海外体験プログラム 参加者年間70人程度

- 法人の重点事業に対する適正な進捗管理、法人予算全体の収支構造を中長期的に見据えた財政運営等
- トップマネジメントの強化、大学・法人の名称変更等を契機とする各大学・高専の認知度やプレゼンスの向上の取組の実施
- コンプライアンス確保・向上のための内部統制体制を整備、都や区市町村等との連携事業を推進する組織の強化
- 大学高専連携事業基金を活用した国際連携プログラムや共同研究等の実施、2大学1高専の「新たな連携の在り方」の策定
- 公益財団法人東京都環境公社との包括連携協定の締結
- 2050年までのカーボンニュートラルを目指した気候非常事態宣言の発出及び持続可能な社会の実現に向けた研究を推進するTMUサステナブル研究推進機構の設置
- 東京都立大学と一般社団法人東京都立大学同窓会で包括連携協定を締結
- 東京都と連携した新型コロナウイルスワクチン接種会場の設置
- 働き方改革推進計画を策定、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として自宅勤務（テレワーク）を導入、グループウェアやウェブ会議の活用
- 「東京都立大学 新型コロナウイルス緊急支援基金」の募集
- 各大学・高専の認知度向上のため、専門家の知見を活用した広報活動の展開
- セキュリティ組織（CSIRT）の設置、セキュリティ教育の充実、インシデント対応体制の維持向上

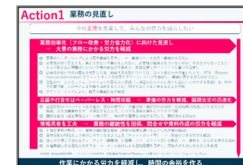
◆ 戦略的な法人経営の展開

- ・経営トップ層の意向を反映させた中期計画最終年度の施策展開と法人全体のトップマネジメントを有効に機能させた次期中期計画を策定
- ・持続可能な社会の実現に向け、TMUサステナブル研究推進機構において、**アカデミズムの立場からSDGsの課題解決に資する調査研究を推進**
- ・各大学・高専の将来構想に基づいた、**教学マネジメントを推進**、それらの取組を**法人として一層の支援**
- ・2大学1高専の連携体制を構築し、教職員間の情報共有・交流機会を強化して、事業を検討・推進



◆ 業務運営の改善、財務・施設基盤の整備

- ・「働き方改革推進計画」に基づき、業務の見直し（廃止や効率化等）、各種制度の検討・構築（**文書事務や旅費制度の運用の見直し等**）等を推進
- ・**旅費システム稼働**、令和5（2023）年度の文書管理システム導入に向けたシステム構築
- ・寄附目的の明確化など、**卒業生をはじめとした多くの人が支援しやすい環境を整備**
- ・都立大のキャンパスランドデザインに基づきキャンパスの環境改善に着手、令和5（2023）年度からの**日野キャンパス新棟の供用開始に向けた工事**



◆ 情報発信等の強化

- ・令和3（2021）年度の広告の結果等を踏まえた**ターゲット別等の戦略的な広報**、都立大における**大学案内及び総合ホームページの一体化したりニューアルの実施**、**WEB媒体を含めた自主広報媒体の充実**、**海外大学等に向けたニュースレターの発行**による戦略的かつ効果的な情報発信
- ・**卒業生・同窓会等との連携強化策**を検討・実施し、愛校心を醸成



◆ 法令遵守等の取組

- ・都立大南大沢キャンパスにおける火災で損傷した**施設を復旧、再発防止に向けた取組を実施**、**消防計画を見直し**
- ・2050年までのカーボンニュートラルを目指し、**気候非常事態宣言に基づき**、2大学1高専が連携・協力して気候危機をはじめとした**SDGsへの取組を推進**
- ・教職員等を対象にeラーニング等による**研究コンプライアンス研修**を実施
- ・令和3（2021）年度に複数回発生した個人情報漏洩事故等の反省に立ち、**教職員のセキュリティ意識及びリテラシーの向上**、働き方改革に資するシステム環境整備

【第三期KPI】  
★コンプライアンス研修受講率 **100%**